



Ensemble FOVE presents "TRANS" (2018) 撮影：井上嘉和

KAC Performing Arts Program / Music

北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元によるスペクタクル

2月29日(土)～3月1日(日)

坂東祐大『感情の作られ方』

3月28日(土)～29日(日)

元小学校という歴史を強く感じさせる空間を生かし、毎年様々なプログラムを展開しているKAC Performing Arts Program / Music。2019年度は2名の若手作曲家を取り上げ、プログラムや視覚的な面も含め、音楽コンサートの新たな可能性を作曲家と共に模索します。

2018年までパリに在住し、現在は東京を拠点に活動する北爪裕道は、器楽はもちろん電子音楽の分野でも多くの作品を手掛けています。パリで最先端のコンピュータ音楽技術を取り入れながら磨き上げた音楽表現を、電子音響のみならず、自動演奏ピアノのように機械で制御されるアコースティックの自動演奏楽器でも実践し、人間の演奏とは別の摂理で動く自動演奏ならではの表現を探ってきました。今回のプログラムでは、器楽奏者による生演奏、自動演奏楽器、ウィンドシンセのように奏者の演奏が電子音で鳴る電子楽器、そして事前に作り込まれ再生される電子音、という4種類の音表現を駆使します。また、空間構成において演出家の桑折現、映像ディレクターの小西小多郎とも協働し、

光の演出なども加えてそれらの音が時間的・空間的にどう存在し、表現されるのかを探ります。

坂東祐大は京都芸術センターでの公演は今回で2度目となります。2018年に発表した『TRANS』では、奏者とスピーカーが織り成す音の聴こえ方に重さを置いていましたが、今回は奏者の身体や、音楽によって生み出される「感情」に焦点を当てます。坂東は『「これは音楽的ではない」という言葉が批判的に使われるとき、何をもって音楽的でないのか、なぜそのような感想・感情が生まれてくるのか?』ということに興味を持ち、今回のプログラムの出発点としました。本企画では坂東の曲を通して音楽的なものとそうでないものの境界を行き来することで、どのような感情がいかんして湧き起こるのかを、観客と共に考えます。

2人の作曲家と共に、それぞれのアプローチで作りに上げるコンサートにご期待ください。

休憩中や通勤中に北爪さん・坂東さんの音楽をよく聴きます。中毒性があります。いつもイヤホン越しなので、直に聴けることがとても楽しみです！
奥村麻衣子(アートコーディネーター)

Profile

北爪裕道(きたづめ・ひろみち)

東京藝術大学、桐朋学園大学などで作曲と指揮を学んだ後、文化庁新進芸術家海外研修制度、ロームミュージックファンデーションなどから給費を得て、パリに滞在。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にてコンピュータ音楽の研鑽を積んだほか、パリ国立高等音楽院作曲科第一・第二課程をともに首席で修了。現在、東京藝術大学および桐朋学園大学講師。

坂東祐大(ばんどう・ゆうた)

1991年生まれ。東京藝術大学作曲科を首席で卒業。東京藝術大学音楽学部作曲科修士課程修了。2015年第25回芥川作曲賞受賞。2016年Ensemble FOVEを設立し、ジャンルの枠を拡張する様々なアートプロジェクトを展開。また、上記のメインワークに加え、ジャンルを横断した活動として、米津玄師『海の幽霊』『馬と鹿』『パプリカ』『カイト』(NHK2020ソング)にて共同編曲、宇多田ヒカル『少年時代』にて共演。

KAC Performing Arts Program 2019 / Music

北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元によるスペクタクル^友

日時：2月29日(土)15:00/19:00
3月1日(日)15:00

会場：フリースペース

作曲：北爪裕道

出演：本堂誠(サクソフォン、ウィンドシンセサイザー)、石田湧次(パーカッション、電子パーカッション)、北爪裕道(アコースティック、鍵盤ハーモニカ ほか)

【関連企画】インсталレーション『粒子の踊り』

自動演奏のピアノと打楽器、電子音響を実際に操作し、体験できるインсталレーション。

日時：2月28日(金)13:00～17:00

※2月29日・3月1日の終演後にも行います

会場：フリースペース

料金：無料 ※入退場自由

坂東祐大『感情の作られ方』^友

日時：3月28日(土)15:00/19:30
29日(日)16:00

会場：講堂

作曲：坂東祐大

出演：Ensemble FOVE(多久潤一朗(フルート)、上野耕平(サクソフォン)、中川ヒデ鷹(ファゴット)、大家一将(パーカッション)、塗櫻(声)、有馬純寿(電子音響)

料金：各一般前売2,500円/当日3,000円
U25 2,000円(前売・当日共)



パリ音楽院での電子音響コンサートの様子(北爪裕道)

EVENT CALENDAR 2020.02

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。
※🗨印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示
※🗨印の公演は、窓口にてチケット取扱

略称

🗨 …… 日時

🏟 …… 会場

🎫 …… 料金

👤 …… 出演、出演

🗨 …… 演目、曲目

🎫 …… 席 …… 席主

👤 …… 主催

🗨 …… 共催

🗨 …… 問合せ

👤 …… 定員

👤 …… 持物

アイコン

🎨 美術

🎭 伝統

🍵 茶会

🎵 音楽

💃 ダンス

🎭 演劇

💬 トークイベント

📚 ライブラリー

👤 明倫ワークショップ
(無料・初心者大歓迎!)

🤝 KACセレクション
(共催事業)

1/11 sat.

2/16 sun.

🗨

TRA-TRAVEL『ポストLCC時代の』

Co-programカテゴリB採択企画。アジア4ヶ国計7組のアーティストによる展覧会。
🗨1月11日(土)ー2月16日(日)10:00ー20:00 ※会期中無休 🗨ギャラリー北・南ほか 🗨Mark Salvatus、Mong-jane Wu、Prapat Jiwarangsarn、Qenji Yoshida、Wantanee Siripattananuntakul、Yukawa-Nakayasu、Yu-Hsin Su 🗨無料 🗨TRA-TRAVEL、京都芸術センター

💬

シンポジウム
「KYOTO EXPERIMENTの10年をみんなで振り返る」
「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭」の10年を振り返り、次の5年、10年に向けての展望を考えます。
🗨2月1日(土)12:00ー18:00(途中休憩あり) 🗨大広間 🗨1,000円
🗨KEX10thを振り返る有志の会 🗨京都芸術センター ●協力：京都文化芸術コア・ネットワーク ●問合せ：kex10th@gmail.com

👤

劇団あしたの会「公開稽古 手話の演劇を体感しよう」
耳が聞こえないろう者と聞こえる聴者が共に創る、手話の芝居を体験していただきます。
🗨2月1日(土)14:00ー15:30 🗨制作室4 🗨無料 🗨10名

2/1 sat.

🗨

前田耕平「Love Noise」パフォーマンス

様々な都市の人たちの愛の声を採集し、その形を探るプロジェクトのパフォーマンスを行います。「愛」の記憶や体験をカードに書き、みんなで声にします。※パフォーマンスで撮影した映像は3月の展覧会で展示予定です。
🗨2月1日(土)11:00ー12:00頃 ※悪天候の場合2月8日(土)に延期 🗨京都芸術センター 🗨無料 🗨年齢・国籍・性別不問、撮影において顔や姿が映ることと、撮影した映像を作品に使用することを承諾いただける方 ※あたたかい服装でお越しください ●申込・問合せ：京都芸術センター

前田耕平「Exuvia」(六甲ミーツ・アート芸術散歩2019) 撮影：Tatsuki Katayama

2/2 sun.

👤

ルドルフ「舞台俳優のためのヨガワークショップー舞台で「使える」身体になるー」

アーサナ(ポーズ)・呼吸法・瞑想を実践し、演劇の現場でヨガを活かす方法をお話します。
🗨2月2日(日)14:00ー17:00 🗨制作室9 🗨無料 🗨5名 🗨舞台表現に携わる方 🗨ヨガマットもしくは大きめのバスタオル、飲み物
※動きやすい服装でお越しください

2/4 tue.

👤

劇団飛び道具「『引き波に乗る蜘蛛』公開稽古」

普段通りのシーン稽古を行い、俳優や演出のアイデアにより作品が進化する瞬間、作品が停滞し苦心する様子などをご覧ください。
🗨2月4日(火)19:00ー21:00 🗨制作室3 🗨無料 🗨15名

2/6 thu.

🗨

TRA-TRAVEL『ポストLCC時代の』関連企画
Yu-Hsin Su『water sleep II Akaike river under Xizang Road』

TRA-TRAVEL『ポストLCC時代の』出展作家による映像上映。
🗨2月6日(木)ー9日(日)10:00ー20:00 ※入退場自由 🗨和室「明倫」
🗨無料 🗨TRA-TRAVEL、京都芸術センター

2/8 sat.

🎭

伝統芸能文化創生プロジェクト
シンポジウム&公演「鬼と芸能：古今東西の鬼大集合」

🗨2月8日(土)開場12:30 開演13:00 🗨講堂
第1部 シンポジウム 13:00ー15:30
●基調講演：小松和彦(国際日本文化研究センター所長) ●シンポジスト：横山太郎(立教大学教授)、川崎瑞穂(神戸大学・日本学術振興会特別研究員)、三宅流(映画監督)
第2部 公演 15:45ー17:00
●演目：北藤根鬼剣舞(岩手県・北藤根鬼剣舞保存会)、母ヶ浦の面浮立(佐賀県・母ヶ浦面浮立保存会)、狂言「節分」(鬼：茂山千五郎、女：島田洋海)
🗨無料(先着順・要事前申込) 🗨150名 ※定員に達したため事前予約は受付終了。当日開演5分前にお並びいただいた順に空きをみて案内します 🗨🗨伝統芸能アーカイブ & リサーチオフィス TEL：075-255-9600

👤

トイネスト・パーク
「リズムにあわせて楽しくダンシング！」

ダンスの基礎となるアイソレーションやリズムの取り方を学び、簡単な振付と一緒に踊ってダンスの楽しさを体感しましょう。
🗨2月8日(土)18:00ー19:30 🗨制作室11 🗨無料 🗨12名 🗨小学生以上 🗨飲み物、タオル ※動きやすい服装でお越しください

🎭

伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム報告会

伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム採択事業の報告会(平成30年度採択分)と中間報告会(令和元年度採択分)を開催します。
🗨2月9日(日)13:30ー16:20 ※13:15開場 🗨講堂 🗨無料 ※予約申込可 🗨🗨伝統芸能アーカイブ & リサーチオフィス TEL：075-255-9600

🎭

連続講座「新内節を語る」第2回「創作を語る」

🗨2月11日(火・祝)15:00ー17:00 🗨大広間 ●講師：岡本宮之助
●ゲスト：細川周平 🗨無料 🗨30名 🗨🗨伝統芸能アーカイブ & リサーチオフィス TEL：075-255-9600

💬

文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント入門
第7回「共有空間の獲得」

🗨2月13日(木)19:00ー21:00 🗨ミーティングルーム2 ●講師：小山田徹(美術家・京都市立芸術大学教授) 🗨無料(要事前申込) 🗨40名
🗨🗨東山 アーティスト・プレイメント・サービス(HAPS) TEL：075-525-7525 E-mail：info@haps-kyoto.com 🗨京都芸術センター

2/13 thu.

🤝🎭

居留守『鳥を吐き出す。』🗨

Co-programカテゴリD採択企画。複数のテキストをコラージュした演劇作品。
🗨2月13日(木)19:30(公開ゲネプロ)、14日(金)19:30、15日(土)14:00/19:30、16日(日)15:00 🗨フリースペース ●演出：山崎恭子 🗨一般前売2,800円／当日3,000円、学生前売2,500円／当日2,800円、公開ゲネプロ前売1,800円／当日2,000円 🗨🗨居留守 🗨京都芸術センター ●チケット取扱：京都芸術センター、居留守 E-mail：irusu.kyoto@gmail.com WEB：https://irusu-kyoto.tumblr.com/

2/17 mon.

💬

リレートーク「藝・文・京」II

縮小社会における暮らしとは!? 芸術や文化を通して、超高齢化社会における新しい暮らし方を考えます。
🗨2月17日(月) ※時間未定 🗨講堂 ●登壇：加藤博史(社会福祉学者)、宗田好史(都市建築学者)ほか 🗨無料(先着順・要事前申込) 🗨50名 🗨公益財団法人京都市芸術文化協会

2/21 fri.

👤

若だんさんと御いんきょさん「公開稽古と演出の役割」

3月6ー8日の公演に向けた安部公房作『鞆』の公開稽古と、演劇公演における演出の役割についてお話しします。
🗨2月21日(金)14:00ー15:30 🗨制作室9 🗨無料 🗨20名

2/21 fri.

🎭

KAC Performing Arts Program 2019 / Theater
ソン・ギウン『昭和の三人姉妹』リーディング

アントン・チェーホフ『三人姉妹』を日本統治下の朝鮮半島に置き換えた劇作家・演出家ソン・ギウン氏の新作を、ソン氏と大阪大学文学研究科の学生と協働してリーディング形式で上演します。
🗨2月21日(金)18:00、22日(土)14:00 🗨フリースペース 🗨無料 ※要事前申込 ※P4もご覧ください

2/22 sat.

💬

KAC Performing Arts Program 2019 / Theater
サファリ・P コンボ公演報告会

サファリ・Pが『悪童日記』公演で訪れたコンボ共和国について、国際的な視点をふまえつつ、演劇が作り出す交流の可能性について話します。
🗨2月22日(土)17:00ー20:00 🗨講堂 🗨無料 ※要事前申込 ※P4もご覧ください

2/26 wed.

👤

kiyamania「型から身体をみつめる」

普段稽古している新体道という武道の「型」を用い、身体の運用、気の流れ等にフォーカスし、身体に向き合う術を学びます。
🗨2月26日(水)11:00ー13:00 🗨制作室6 🗨10名 🗨無料 ※動きやすい服装でお越しください

2/29 sat.

👤

トリコ・A「脚本を読んでみる」

新作戯曲『へそで、嗅ぐ』を、声に出して読んでみませんか? 読んだ後に意見交換を行います。
🗨2月29日(土)13:00ー14:30 🗨制作室5 🗨無料 🗨10名

2/29 sat.

3/1 sun.

🎵

KAC Performing Arts Program 2019 / Music
北爪裕道『粒子の踊り』〜4つの音次元によるスペクタクル🗨

作曲家北爪裕道による、器楽の生演奏や自動演奏ピアノ等を組み合わせた音楽公演。
🗨2月29日(土)15:00／19:00、3月1日(日)15:00 🗨フリースペース ●作曲：北爪裕道 🗨本堂誠(サクソフォン、ウインドシンセサイザー)、石田湧次(パーカッション、電子パーカッション)、北爪裕道(アコースモニウム、鍵盤ハーモニカ ほか) 🗨一般前売2,500円／当日3,000円、U25 2,000円(前売・当日共)
【関連企画】インスタレーション『粒子の踊り』
自動演奏ピアノを用いたインスタレーション。実際の操作も可能です。
🗨2月28日(金)13:00ー17:00 ※2月29日・3月1日の終演後にも行います 🗨フリースペース 🗨無料 ※入退場自由

🗨

京都芸術センター20周年記念事業
てんとうむしプロジェクト06『つなごりの方程式』

前田耕平とタオ・ファイ(中国)による展覧会。
🗨3月1日(日)ー4月5日(日)10:00ー20:00 ※会期中無休 🗨ギャラリー北・南 🗨前田耕平、タオ・ファイ(中国) 🗨無料 🗨京都芸術センター

図書室休室日：2月28日(金)

制作支援事業 (制作室使用者による公演・展覧会)

gallop『ダブルプラス・グッドフル・アングッド』

ジョージ・オーウェル作『1984』をテーマにした新作パフォーマンス。
【京都公演】
🗨1月31日(金)19:30、2月1日(土)14:00／18:30、2日(日)16:00 🗨スタジオ・ヴァリエ(左京区)
【横浜公演】(TPAM2020フリンジ参加作品)
🗨2月15日(土)17:00／21:30、16日(日)18:00 🗨The CAVE(神奈川県横浜市)
🗨前売2,500円／当日3,000円 ※受付・開場は開演の20分前 ※12歳以下は保護者同伴をお勧め 🗨gallop TEL：050-5437-1407 E-mail：galloppppps@gmail.com WEB：http://galloppppps.com/

TICKET [チケット]

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”
オルタ『超衆芸術 スタンドプレー』

「自らが演じること」と「演じることを観ること」の関係が演者と観客、都市と劇場のなかで立ち上がり、人間の共存について問います。
🗨2月8日(土)15:00、9日(日)18:30、10日(月)19:00、11日(火・祝)14:00 🗨ロームシアター京都 ノースホール 🗨一般2,999円、U25 2,499円 ※当日各500円増 高校生以下999円(前売・当日共) 🗨🗨オルタ E-mail：mail@olta.jp
🗨京都芸術センター、ロームシアター京都、京都市

第257回 市民狂言会

🗨3月6日(金)開場18:30 開演19:00 🗨京都観世会館(左京区) 🗨岡太夫、土筆、魚説経、仁王 🗨茂山あきら、千三郎、千五郎 ほか 🗨前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、チケットぴあ(PCコード：499-084) ほか ※団体券2,200円(20名以上)は京都芸術センターにて取扱 🗨京都市

京都芸術センター20周年プレ企画

KAC Performing Arts Program 2019/Traditional Performance
継ぐこと・伝えること63・64🗨

京都で継承されてきた芸、能と京舞。共通する物語「海人」を取り上げます。

63「金剛流を魅せる」

🗨3月15日(日)開場13:30 開演14:00 🗨講堂 🗨金剛龍謹(シテ方金剛流若宗家) ほか ●演目：舞囃子『海人』、仕舞『玉之段』 ●トークゲスト：渡辺美帆子(演劇作家、ドラマツルク) ●司会：小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

64「井上流を魅せる」

🗨3月20日(金・祝)開場13:30 開演14:00 🗨講堂 🗨井上安寿子(京舞井上流) ●演目：『珠取海女』 ●トークゲスト：きたまり(振付家・ダンサー) ●司会：小林昌廣

🗨各一般前売1,800円／当日2,000円、高校生以下500円(前売・当日共)、セッ
ト券3,000円(63・64のセット)

KAC Performing Arts Program 2019 / Music
坂東祐大『感情の作られ方』🗨

作曲家坂東祐大による新作音楽公演。
🗨3月28日(土)15:00／19:30、29日(日)16:00 🗨講堂 ●作曲：坂東祐大 🗨Ensemble FOVE(多久潤一朗(フルート)、上野耕平(サクソフォン)、中川ヒデ鷹(ファゴット)、大家一将(パーカッション))、涂櫻(声)、有馬純寿(電子音響)
🗨一般前売2,500円／当日3,000円、U25 2,000円(前売・当日共)
※P1もご覧ください

OPEN CALL [募集]

トラディショナル・シアター・トレーニング(T.T.T.)2020 受講生募集

舞台芸術に携わる方を対象とした、3週間の伝統芸能集中トレーニングです。
●期間：7月11日(土)ー8月2日(日) ●応募条件：演劇・ダンスなど、舞台芸術に関わる表現活動もしくは研究活動を行っている方。原則として、オリエンテーションから発表会までのすべてのスケジュールに参加できる方。伝統芸能を積極的に学ぶ意欲のある方。国籍・年齢・性別は不問 🗨24名(能・狂言・日本舞踊 各コース8名程度) ●受講料：一般 90,000円／学生・リピーター割引 75,000円 ●締切：3月20日(金・祝)〔必着〕 ※随時選考を行い、応募者全員にメールで通知。定員に達し次第締切日を待たず受付を終了する場合があります。 🗨京都芸術センター E-mail：t.t.t@kac.or.jp



サファリ・P 撮影：松本成弘



演劇計画Ⅱ-戯曲創作- 関連企画 松元悠「カオラマ」(戯曲:松原俊太郎「カオラマ」第一稿・第二稿)
撮影：松見拓也

KAC Performing Arts Program 2019 / Theater

演劇作品における新たな主体をめぐって

ソン・ギウン『昭和の三人姉妹』リーディング 2月21日(金)ー22日(土)

サファリ・P「コソボ公演報告会」 2月22日(土)

『カオラマ』(作:松原俊太郎)を考える

4月に京都芸術センター開設20周年を迎えるにあたり、開設当初よりゆかりのあるアーティストらと共に、京都における演劇のこれまでとこれからを考える3つのイベントを開催します。

まず1つ目は、劇作家・演出家のソン・ギウン(韓国)と大阪大学文学研究科の学生との協働により、アントン・チェホフの戯曲『三人姉妹』をもとに、日本統治下の朝鮮半島を舞台に描きなおしたソンの新作をリーディング形式で上演します。ソンの作品は、2008年の「演劇計画」において筒井潤演出によるリーディング上演を行うなど、関西の演劇と馴染み深いものです。今回もアフタートークゲストとして筒井を招き、当時の作品や演劇状況を振り返りつつ、現在の日韓共同制作についてもお話を伺います。

次に、京都芸術センターの制作室を長年使用している劇団の「サファリ・P」が、昨年コソボ共和国で上演した『悪童日記』の報告を行います。併せて専門家を招き、長く紛争が続いたバルカン半島に位置するコソボ共和国の状況や、演劇

を通じた国際交流の可能性を探究します。

3つ目は、「演劇計画Ⅱ」において松原俊太郎が創作した戯曲『カオラマ』について考えます。3年間かけて1つの戯曲を創作する「演劇計画Ⅱ」では、2016ー18年に「上演を前提としない戯曲」を1つの柱として、松原俊太郎と山本健介の2名の作家に依頼しました。松原の『カオラマ』は、完成した戯曲を元にリトグラフ作家の松本悠が作品制作するかたちで展開しました。今回はテキストの外側に向き合うようなアーティストや批評家らと、これを読み議論します。戯曲は上演と切り離し得るのか、書かれる声と読まれる声の差異とは。ともすると空回りしてしまいそうになる疑問を投げかけ、考えられることを待っているような本作について共に悩むことで、作品のもつ可能性と京都芸術センターにおける展開を模索します。

20年間の演劇事業の記録を眺めると、様々なアーティストとの長い縁が垣間見え、積み重ねられてきた時間と関係性を感じます。 遠山きなり(アートコーディネーター)

Profile

ソン・ギウン

1974年、大邱生まれ。劇作家、演出家。第12言語演劇スタジオ主宰。1999年、東京外国語大学への交換留学の際に日本語を学び、平田オリザ戯曲などの翻訳、野田秀樹の『赤鬼』韓国バージョン(2005)・『半神』(2014)、多田淳之介・東京デスロックとのコラボレーションなど、日本演劇との交流と合作に深く関わっている。

サファリ・P

利賀演劇人コンクール2015にて優秀演出家賞一席を受賞した『財産没収』(作:テネシー・ウィリアムズ)の上演メンバーにより結成。パフォーマー(俳優・ダンサー)・技術スタッフ(照明・音響)・演出部(演出家・ドラマツルク)からなる劇団。既成戯曲・小説から作品を立ち上げる。物語に底流する作者の生い立ち、時代背景などを重視してテキストを紐解き、独自の身体性と発話により舞台化する。

KAC Performing Arts Program 2019 / Theater

ソン・ギウン『昭和の三人姉妹』リーディング

日時：2月21日(金)18:00 ※アフタートークあり
22日(土)14:00

会場：フリースペース

作・演出：ソン・ギウン

アフタートークゲスト：筒井潤(dracom)

料金：無料 ※要事前申込

主催：大阪大学文学研究科、京都芸術センター

サファリ・P「コソボ公演報告会」

日時：2月22日(土)17:00ー20:00

会場：講堂

料金：無料 ※要事前申込

主催：サファリ・P、京都芸術センター

『カオラマ』(作:松原俊太郎)を考える

※日程調整中

京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えます。

テーマは“We Age”
(ウィー・エイジ)

(ロゴデザイン：松本久木)

各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

公式ウェブサイト | <http://www.kac.or.jp>

[kyotoartcenter](#) | [@Kyoto_artcenter](#)

Since 1971

MAEDA'S COFFEE

KYOTO ART CENTER 1F
MUROMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL:075-221-2224
10:00ー21:30 everyday

京都芸術センター教育 ニ
「伝統芸能ことはじめ」

小林昌廣 著 定価3,456円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは
下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<http://www.kac.or.jp/shop/>

京 都 芸 術 セ ン タ ー KYOTO ART CENTER

交通案内

- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

- ギャラリー・図書室・情報コーナー・チケット窓口 10:00ー20:00
- カフェ 10:00ー21:30
- 制作室、事務室 10:00ー22:00

休館日 12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります

〒604-8156 京都市中京区室町通錦薬師下る山伏山町546-2
TEL : 075-213-1000 FAX : 075-213-1004
E-mail : info@kac.or.jp
指定管理者：公益財団法人京都芸術文化協会